

2月28日：VN 指数は今週3度目の1%超の下落

VN 指数は 1.81% 安の 882.19 ポイントで取引を終えた。今週に入って三度目の 1% 超の下落となった。

ホーチミン取引所の VN 指数は月曜日の 933.09 ポイントから 5.45% ほど上昇したことになる。

294 銘柄が下落し 81 銘柄が上昇した。相対取引では 3.2 兆ドンが取り引きされ 2.6 兆ドンだった前日から増加した。

VN30 指数はより大幅な下落で 1.93% 安となり、29 銘柄が下落し 1 銘柄のみが上昇した。6 銘柄が 4% 以上下落しそのうち 2 銘柄が建設セクターであった。

FLC ファロス建設 (ROS) は 6.7% 安でほぼストップ安水準まで値下がりした。直近 1 か月同株は最もボラティリティの高い株でストップ高とストップ安を繰り返している。

それに次いで下落したのがサイゴンビール (SAB) で 6.5% 安、ペトロベトナムガス (GAS) も 4.1% 安と大幅な下落となった。

VP バンク (VPB) は 4.1% 安、コテコンズ建設 (CTD) は 4% 安となった。

国営商業銀行の 3 行である BIDV 銀行 (BID) は 3.4% 安、ベトコムバンク (VCB) は 1.9% 安、ベティンバンク (CTG) は 1.7% 安となった。

時価総額上位 2 社であるビングループ (VIC) とビンホームズ (VHM) はそれぞれ 0.2% と 0.5% のわずかな下落にとどまった。

ペトロリメックス (PLX) は唯一の上昇株で 0.8% 高となった。

一方、ハノイ取引所の HNX 指数は 1.48% 高、UPCoM 指数は 0.85% 安という結果だった。

外国人投資家は 14 営業日連続の売り越し、4100 億ドン売り越した。ビナミルク (VNM) とベトコムバンク (VCB) に売りが集まった。

ベトナム株式指数は世界とアジアの株式市場を反映した動きになっている。2008 年の金融危機以来の最も下落した週となった。コロナウイルスの蔓延が世界の投資家を売りに向かわせている。

MSCI 世界株式指数は 9.4%下落し、2008 年 11 月以来の最悪のパフォーマンスとなった。

日本の TOPIX 指数も 3.7%安、オーストラリア S&P/ASX200 と韓国 KOSPI 指数はどちらも 3.3%安となった。

中国の上海総合指数と深セン総合は 3.6%安で香港ハンセン指数は 2.4%安となった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。